JCI 一般社団法人　西大寺青年会議所 広報誌
Junior Chamber International Saidaiji(Japan)
2013年度
12月号

「初志貫徹」
～志高く地域の絆で未来を拓く～

Junior Chamber International Saidaiji(Japan)

No.1
Looking back one year
第53代理事長　赤木 朋央
・一年を振り返って

No.2
Looking back one year
外部監事　井上 裕嗣
・一年を振り返って

No.3
Social gathering
地球ふるさと委員会　谷　政道
・OB懇親会
Graduation exercises
卒業生　寺田 和宏
・卒業式

No.4
Editorial note
会員創造委員会　藤原辰徳
・編集後記

Looking back one year
一年を振り返って

第53代理事長　赤木朋央

2013年度、西大寺青年会議所はスローガンを『「初志貫徹」～志高く地域の絆で未来を拓く～』と掲げ、一年間青年会議所運動に取り組んで参りました。

「初志貫徹」とは、読んで字のごとく、初めに決めた志を貫き通すことであります。

私の中での初志とは基本方針は基より、どんな困難にも立ち向かう決意で一年間青年会議所運動、活動をして参りました。

改めてこの一年を振り返ってみると、様々なことが昨日の出来事のように思い浮かんできます。様々な場面に於いて西大寺青年会議所の理事長として出席し、様々な方々とお会いする機会を与えていただきました。本当に今年理事長をして良かったと思っています。

事業の方では今年４２回目を迎えた「少年はだか祭り」では、天候にも恵まれ盛大に開催することが出来ました。参加した地域の子ども達が２本の宝筒を奪い合う姿は毎年拝見していますが、今年も大人顔負けの迫力でした。５００年を越える伝統行事を守っていくため継続していかないといけない事業だと思いますので引き続き地域団体の皆様と共に続けていきたいと考えています。

そして、今年二年ぶりに開催しようとした「吉井川フェスタ」ですが、開催当日あいにくの天候の為、やむなく中止の決断させていただきました。

この「吉井川フェスタ」は、以前我々にとって少年はだか祭りと同じくらいの大きい事業でありました。しかし、ここ数年は開催せずに形態を変え違った事業に姿を変えようとしていました。私が理事長を拝命するに当たり、強い信念でこの吉井川フェスタを再開させると当初から決めさせていただいていました。何故再開を決めたかと言うと、１９９２年の第１回目から開催回数を数えてみると１８年という永きに亘り活動してきた先輩方の意思を引継ぎ、新たな進化をさせるためにも再出発をしたいという意味も込めて開催を決意させていただきました。今年はあいにく中止になりましたが、今年の意思を引き継いで来年も計画していただける様なので、私も出来る限りのバックアップをする覚悟でおります。

その他にも様々な事業を開催・予定していましたが、メンバー数の減少や様々な要因で本年度開催できなかった事業があるのも事実です。今年は３名の方に新理事になっていただきました。この一年を通して、飛躍された一年で有ったことと思い

ます。是非とも今年の経験を来年以降に繋げていって頂きたいと思います。
　昨年より引き継いだバトンを無事次年度へ渡すことが出来ました。もう一年青年会議所運動が出来る事を誇りに思い、今まで経験したことを次年度への恩返しさせていただきたいと思っています。
　最後になりますが、様々な事業を開催するに当たり、ご支援、ご協力頂きました地域団体の皆様、特別会員の皆様、お力添えを頂きました西大寺青年会議所メンバーの皆様に於かれましては心より厚く御礼申し上げます。
　私にとって最高の一年でした。有り難う御座いました。

Looking back one year
一年を振り返って

　2013年度、外部監事として務めさせていただきました井上です。
昨年卒業を前にして、赤木理事長から外部監事就任の要請をいただき、いままでお世話になった現役メンバーへのご恩返しの意をこめまして、外部監事就任を約束させていただいてから、あらためて今日までのことを振り返りますと、特別会員でありながら現役会員の一員としても行動するという微妙な立場を受け止めるのは大変難しかったというのが正直な心境です。精一杯務めたつもりではありますが、果たしてどれほどお役にたてたのかどうか。力不足の私のこと、ご容赦いただきたいと思います。
　私は現役会員であった時から、多くの先輩にご指導をいただく機会を得ることができ、また先輩方のお話をお伺いするたびに、自身がどのような特別会員でありたいのかということを、考える機会にもまた恵まれていたように思います。今後は貴重な経験を糧として、特別会員としてできる限り、現役メンバーの皆さんのお力になれるように努力していきたいと考えております。
　私が今、現役メンバーにお伝えしたいことは、青年会議所という非常にすばらしい団体は、多様な側面を持つ団体であり、その運動理念や原則、存在意義でさえも、それに携わる者ひとりひとりで考え方に違いがあるということを意識しなければならないということです。
　木を見て森を見ずの愚を犯すことなく、青年会議所という団体の本質をとらえて皆さん自身が考えるＪＣ運動を実現していただきたい、それが私の最後に伝えたいことであり、ＪＣの未来への願いでもあります。最後になりましたが西大寺青年会議所関係者のすべての皆様に、心から感謝申し上げます。今まで本当にありがとうございました。

外部監事　井上裕嗣

井上外部監事　１年間ありがとうございました

Social gathering
OB懇親会

去る11月25日に、西大寺グランドホテルに於いてOB懇親会が盛大に開催されました。OBの方々から「JC運動を通じて得た事」というテーマでお話をして頂き、実りある時間を過ごす事ができました。今後とも互いに懇親を深め、これからのJC運動に繋げていきたいと思います。

地球ふるさと委員会　谷　政道

Graduation exercises
卒業式

『卒業を迎え、いま現役メンバーに伝えたいこと』

卒業生　寺田和宏

三年弱という短い期間でしたが、卒業を無事迎える事が出来ました。これはメンバー、家族、そして支えて下さった全ての皆様のおかげです。本当に有難うございました。

卒業してみて、現役メンバーに伝えたい事ですが、二つあります。

まず一つ目ですが、ＪＣには、40歳卒業という期限があります。今のＪＣ運動を思う存分楽しみ、地域や子供たちの為に目的意識をしっかりもって、ＪＣ運動を展開して頂きたいと思います。そして仲間を大切にし、理事長の基、一致団結して事業に取り組んでもらいたいと思います。私も素晴らしい仲間と出会えて本当に幸せでした。

続いて二つ目ですが、会員の拡大です。やはり、メンバーが少なければ出来る事業も限られますし、人数の力は大きいと思います。少子高齢化の中、会員拡大は多くの青年会議所が取り組む、非常に難しいテーマですが会員拡大を実現し、西大寺青年会議所のますますの発展を希望しています。是非、頑張って下さい。

最後になりますが、多くの皆様に支えられ卒業する事が出来ました。この経験を自分の人生の宝とし、これからますます精進していきたいと思います。また、私と同じ気持ちになってくれるような後輩達がたくさん入会し、西大寺青年会議所がますます発展する事をお祈りしています。もちろん私も微力ではありますが、協力をさせて頂きます。

この度は本当に有難うございました。

理事長より感謝の気持ちを込めて…

Editorial note

編集後記

会員創造委員会　藤原辰徳

今年1年間、広報誌を担当して参りました。

原稿依頼をお願いする中で各委員長の事業に対する思いにふれてきました。また載せる写真を抜粋していく中で思いがけない場面を目にする機会もありました。

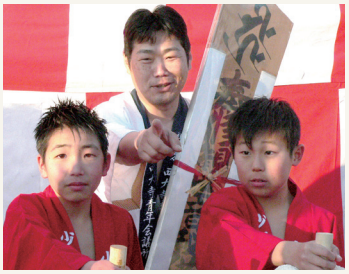
これらの経験を通し、また少しだけ西大寺青年会議所が好きになれた気がします。ありがとうございました。末筆ですが、赤木理事長のご功績を称えお姿を並べました。本当に1年間、お疲れ様でした。

寒い中、子ども達に元気よく「おはよう!」

「む、む、む…!」

メンバー全員の誕生日を
お祝いして下さいました

ナイス!チームワーク!

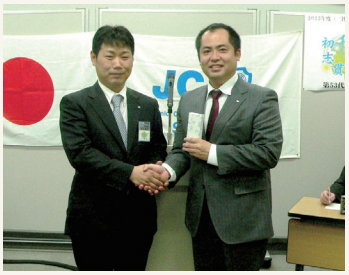


福男児と一緒に「わっしょい!」

素晴らしいスタートでした!

焼印より、小川先輩と愛を込めて❤

「1番セカンド赤木君!背番号⑬」



ありがとうございました!